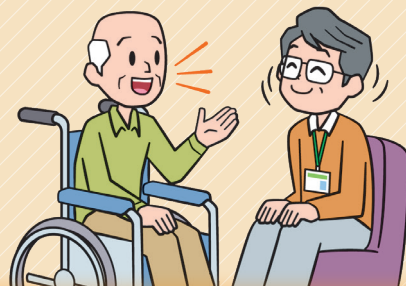


こんな時だからこそ、話したい、聞いてほしい  
誰もが望むやさやかな願いにこたえたい  
それが心の援助になるのなら

地域のボランティア

知ってください！さまざまな「思い」が今もすぐそばで活動中です

ボランティア活動は、地域貢献につながるだけでなく自分の生きがいにもつながります。川崎区では多くのボランティアグループが自発的に活動しており、区役所としてもその活動を支援しています。



つながる輪 ひろがる輪

傾聴ボランティア「やすらぎ」

傾聴ボランティアについて

「聴く」ことは、その人の支えになる

傾聴は、高齢化で孤立しがちな人、大規模災害に遭った人などの心のケアにつなげる一環として広まってきました。耳と目を相手に向けて、話をしっかりと聴き、相手の心に寄り添います。聴いた話を外部の人に話すことはしません。傾聴を必要としている方が増える一方で、傾聴を担う人材不足や高齢化が課題でもあります。

誰かに話したい・  
聴いてほしい  
そばにいてほしい

昔の思い出



傾聴の技法を活かして  
地域活動がしたい

教育文化会館の傾聴ボランティア研修で学んだ仲間が、傾聴の技法を活かした地域活動がしたいという思いから平成20年、川崎区社会福祉協議会で立ち上げました。依頼を受けて高齢者介護施設、福祉施設、グループホーム、一人暮らし高齢者の家を訪問しています。傾聴とは相手が主人公。話をしたい・聴いてほしい人それぞれの心中を察しながら耳を傾けてきちんと受け止め、相手が喜び、やすらぎを感じていただけるよう心がけています。

喜びや  
楽しみ

悲しみや  
不安



集団生活は苦手でも話し相手が欲しい人など、独居の在宅高齢者は介護保険サービスではカバーできないため、傾聴ボランティア「やすらぎ」は地域を支える頼もしい存在です。

大島中島  
地域包括支援センター  
和久井さん

病気などを機に自分に自信が持てなくなり生活や行動が遠慮がちになることは誰にでも考えられることです。傾聴活動との出会いを通じて明るく前向きに過ごすきっかけを得た人がたくさんおられます。

青空ケアサービス  
ケアマネージャー  
村杉さん

こんな活動も

釜石訪問

釜石地域傾聴ボランティア「はなみずき」との情報交換&交流会



釜石保健福祉センターにて